

工 事 名 : 平成 30 年度鳴門管内陸上部橋梁耐震補強工事
受 注 者 : 株式会社新井組

- 工事箇所 : 兵庫県洲本市上内膳 (KP55.4) ~ 兵庫県南あわじ市志知北 (KP66.9)
- 工 期 : 平成 30 年 10 月 17 日 ~ 令和 2 年 12 月 04 日
- 契約金額 : 850,461,000 円 (税込)
- 工事概要 : 鳴門管理センター管内陸上部橋梁のうち、洲本 IC 橋・平池橋・志知高架橋 (新川橋 1)・志知高架橋 (新川橋 2)・西所跨道橋の 5 橋について、落橋防止システムの設置等を行うものである。
- 表彰理由 : 当該工事は、当社が施工した工事の中で品質管理、安全管理等工事全般に優良であり、高い評価を得られましたので表彰するものです。
 - 現場作業期間が長期間 (約 20 カ月)、かつ工事箇所が約 12km に渡って点在する工事で、多様な工種の施工であったが無事故・無災害で完成させた。
 - ため池内での橋脚補強工は、池管理者との調整及び制限された期間内で確実に施工し、工程遅延もなく完成させた。
 - 工事に伴う資機材の搬入は、路下利用を積極的に検討し、本線規制を削減することにより路上工事規制時間を短縮し、道路利用者が安全で快適に利用することが可能となった。
 - 西所跨道橋の昼夜連続規制は、H31.5.7~8.6 までの計画を掘削作業における土留め工法の併用等により工程を短縮、7 月の 3 連休前で終わることができた。
 - 昼夜連続規制時には、起伏式の仮設防護柵を採用し、道路利用者並びに作業員の安全性向上を図った。
 - 新川橋 1 の桁補強に必要な県道上の吊足場には、パネル式足場を採用したことにより、作業員の安全性の向上、及び第三者への安全確保、並びに作業に伴う通行規制の短縮が図れた。



施工位置図：平成 30 年度鳴門管内陸上部橋梁耐震補強工事



写真－１ ため池での橋脚補強工
(平池橋)



写真－２ 橋脚補強工
(コンクリート巻立て)



写真－３ 落橋防止装置（志知高架橋新川橋１）



写真－４・５ 落路下利用による部材搬入（志知高架橋新川橋２）



写真－６・７ 中央分離帯の昼夜連続規制での起伏式仮設防護柵（西所跨道橋）



写真－８・９ 県道上のパネル式足場（志知高架橋新川橋 1）

工 事 名 : 令和元年度鳴門管内自動車防護柵改良工事
受 注 者 : 中川産業株式会社

- 工事箇所 : 兵庫県南あわじ市倭文長田 (K P 59. 934) ~
兵庫県南あわじ市倭文長田 (K P 60. 708)
- 工 期 : 令和 1 年 11 月 16 日 ~ 令和 2 年 4 月 13 日
- 契約金額 : 90, 432, 518 円 (税込)
- 工事概要 : 眩光防止施設工、視線誘導標工、防護柵工、樹木撤去工、
調査工 (試掘)、防草工、埋設標工、交通規制工を行うものである。
- 表彰理由 : 当該工事は、当社が施工した工事の中で品質管理、安全管理等工事全般に優良であり、高い評価を得られましたので表彰するものです。

- 固定規制による渋滞対策として、繁忙期や 3 連休期間中の規制を回避する工程計画を立案し、現場作業員の配置を臨機に対応しながら、予定工期内で工事を無事故、無災害で完成させた。
- 作業休工の夜間や休日は概ね 2 時間の頻度で巡回し、規制機材の点検・確認を実施した。また、渋滞が発生した場合、迅速に対応するため休日は後尾警戒要員を配置した。
- 受注者は埋設物損傷事故対策として、土砂をエアールによりほぐしながら掘削するエアースコップでの作業を提案し事故防止に努めるとともに作業員の手掘り作業による労力や作業時間の低減を図った。
- 規制区域内の清掃・雑草除去などを積極的に実施し、規制解除後にお客様が安全・快適に走行できるよう、清掃等を行った。
- 土被りが薄いボックスカルバート区間では、事前にガードレール支柱の根入れ長が確保できることを試掘により確認した。
- 資機材の過積載防止のため、車両の最大積載量を確認し仮設防護柵 (H 鋼) は積載本数で管理し、現場発生土はトラックスケールにより管理するため積載可能高さを明示した。



施工位置図：令和元年度鳴門管内自動車防護柵改良工事



写真－１ エアースコップでの掘削（埋設物損傷事故防止対策）



写真－２・３ 清掃・雑草除去などを積極的な清掃等



写真－４・５ 土被りが薄い箇所での事前試掘



写真－６ 過積載防止：仮設防護柵H鋼



写真－７ 過積載防止：現場発生土

工 事 名 : 平成 30 年度大畠地区のり面復旧工事
受 注 者 : 株式会社富士テック

- 工事箇所 : 岡山県倉敷市大畠 (KP20.2 付近)
- 工 期 : 平成 31 年 4 月 11 日～令和 2 年 4 月 30 日
- 契約金額 : 104,561,600 円 (税込)
- 工事概要 : 西日本豪雨により被災した大畠地区のり面において、吹付のり砕工等による復旧工事を行うものである。
- 表彰理由 : 当該工事は、当社が施工した工事の中で品質管理、安全管理等工事全般に優良であり、高い評価を得られましたので表彰するものです。

- 保安林解除許可（発注者実施）の遅延により発生した工事一時中止期間（6 月～8 月）における管理体制を整え、のり面養生等により 2 次災害防止に努めた。また、本線を通行止めすることから、現道上での交通規制に大きく影響する工事であった。
- 工事進捗に伴い、被災範囲・規模、土質等、当初発注の施工条件との相違が明らかとなったが、現場に応じた変更提案（排水施設、のり面保護等）、施工管理を行った。また、仮設備においても現場条件に応じたモノレール等による資機材等の運搬方法を検討、提案し、安全性、経済性等に配慮した施工計画により実施した。
- 被災のり面内における施工計画、24 時間の市道通行制限での安全対策により無事故・無災害で完成させた。
- 施工に障害となる市道の路上駐車抑制のため、駐車禁止エリアの明示のためラバーコーンを設置した。
- 現場詰所への緊急対応設備（AED）の配備、熱中症対策として送風型ヘルメットを採用した。
- 作業用通路となるのり面小段に危険箇所の明示を行った。支柱打込用機械に防音装置を取り付け、夜間施工時の騒音を低減させた。



施工位置図：平成 30 年度大島地区のり面復旧工事



写真－１ ２次災害防止



写真－２ 仮設備モノレール



写真－３ 路上駐車防止対策



写真－４ 送風型ヘルメット



写真－５ 作業用通路危険箇所明示

工 事 名 : 令和元年度尾道管内舗装補修工事
受 注 者 : 日本道路株式会社中国支店

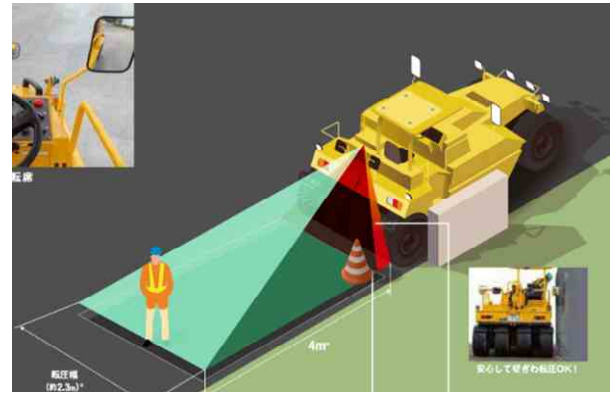
- 工事箇所 : 広島県尾道市高須町～愛媛県今治市上浦町
- 工 期 : 令和2年4月2日～令和3年2月26日
- 契約金額 : 391,512,000 円(税込)
- 工事概要 : 本工事は、尾道管内土工部の KP0.0～KP29.4 区間において、切削オーバーレイ工を施工するものである。

切削オーバーレイ工

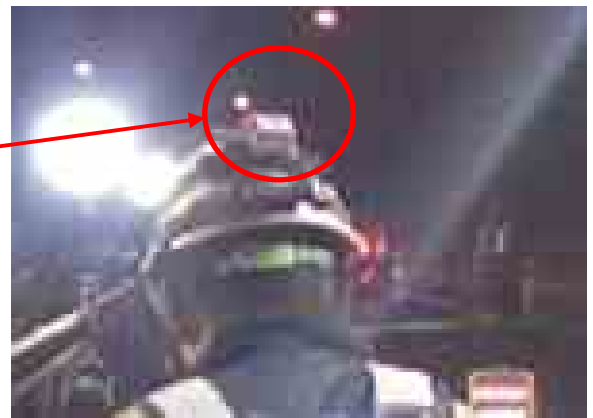
t = 10 cm (改質Ⅱ型)	267m ²
t = 18 cm (高機能Ⅰ型)	9,337m ²
t = 18 cm (改質Ⅱ型)	2,620m ²
t = 20 cm (高機能Ⅰ型)	1,512m ²
t = 20 cm (改質Ⅱ型)	6,007m ²
伸縮装置取替	1箇所
道路付属物撤去・再設置	1式
路面標示工	1式
調査工	1式
交通規制	1式

- 表彰理由 : 当該工事は、当社が施工した工事の中で品質管理、安全管理等工事全般に優良であり、高い評価を得られましたので表彰するものです。

- 自動緊急ブレーキ装置を搭載したタイヤローラを使用し、作業員との接触事故防止対策を講じた。
- マカダムローラと作業員ヘルメットに警報補助装置を取り付け接触防止対策を講じた。
- 隣接家屋への対策として、防音シートを設置し、夜間施工時の騒音を低減。
- 重機操作に際して、誘導員配置や重機と人の行動範囲を分離する措置を実施。



写真－１ 自動緊急ブレーキ装置を搭載したタイヤローラの使用



写真－２ 警報補助装置のヘルメット取付時



写真－３ マカダムローラへの「作業員装着警報感知システム」の設置



写真－４ 隣接家屋への騒音対策



写真－５ 行動分離の標示による安全対策

工 事 名 : 令和2年度尾道管内因島北IC～因島南IC間ワイヤロープ設置工事
受 注 者 : 株式会社富士テック

- 工事箇所 : 広島県尾道市因島重井町字長峰～広島県尾道市因島田熊町字西浦
- 工 期 : 令和2年7月7日～令和3年6月1日
- 契約金額 : 148,192,000 円(税込)
- 工事概要 : 中央分離帯にワイヤロープの設置を行うものである。

路面標示工:1 式
視線誘導標:148 基
車線分離標:176 基
交通保安要員:1 式
ワイヤロープ設置工:2,452 m
ワイヤロープ設置試験施工:1 式
車線分離標撤去工:1,374 基
ワイヤロープ設置工(開口部):344 m
非破壊試験:16 箇所
ワイヤロープ復旧工:1 式

- 表彰理由 : 当該工事は、当社が施工した工事の中で品質管理、安全管理等工事全般に優良であり、高い評価を得られましたので表彰するものです。

- 支柱打込用機械に防音装置を取り付け、夜間施工時の騒音を低減させた。
- 夜間施工であることから、騒音・振動の低減に積極的に取り組んだ。
- 重機操作に際して、誘導員配置や重機と人の行動範囲の分離措置を実施。
 - 1) 防音装置と兼ねた物理的に機械可動部への接触防止措置
 - 2) 通行止区間内ではあるが作業位置に誘導員を配置



施工位置図：令和2年度尾道管内

因島北IC～因島南IC間ワイヤロープ設置工事



写真－１・２ 支柱打込機への防音装置の取付



写真－３ 岩削時における飛散防止兼騒音低減対策



写真－４ 接触防止措置



写真－５ 誘導員を配置

工 事 名 : 宮窪トンネル他照明設備更新工事
受 注 者 : 三笠電機株式会社

- 工事箇所 : 愛媛県今治市伯方町(伯方島 IC)～愛媛県今治市山路(今治 IC)
- 工 期 : 令和1年9月13日～令和3年3月15日
- 契約金額 : 381,260,000 円(税込)
- 工事概要 : 宮窪トンネル、吉海トンネル、近見山トンネルの照明設備更新工事。
- 表彰理由 : 当該工事は、当社が施工した工事の中で品質管理、安全管理等工事全般に優良であり、高い評価を得られましたので表彰するものです。
 - 既設照明設備を運用しながら、新設照明設備を設置することで、交通に影響を与えないようにトンネル照明の必要な明るさを確保しながら施工した。
 - 交通規制を行わずに簡易的にトンネル内照度を把握できるように、検査路上での簡易照度測定を提案し、測定を行った。施工当初の照度値を基準として、定期的な照度測定により、照明器具の劣化、ガラス面の汚れによる照度低下の把握に利用できる可能性がある。
 - 作業時間を短縮するため、照明器具及び非常電源盤取付位置の墨出し時に、墨出し用治具やコンパネ型枠を製作し、墨出し作業時間の短縮につながった。
 - 照度測定のため、今治管内のトンネルで初めての夜間交互交通規制を実施。警察との協議により、規制区間の視認性向上を図る大型バルーンライトの採用、後尾警戒車による確実な一般車排出の確認、また、インターチェンジ入り口等に事前広報としての予告看板の設置や重機操作に際して、誘導員配置や重機と人の行動範囲を分離する措置を実施した。
 - 飛散防止対策のネット設置、新型コロナ感染防止対策及び熱中症対策を万全にして、安全に作業を実施した。
 - 高所作業車に車幅灯・矢印板(LED)を設置し、一般車両へ追突防止の注意を促した。
 - 撤去した照明器具及び電源ケーブルの落下・飛散防止対策として、ネット設置を徹底した。



施工位置図：宮窪トンネル他照明設備更新工事

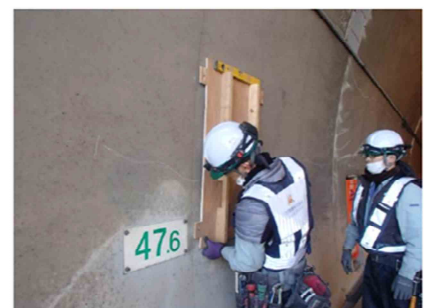


写真－１ 宮窪トンネル照明設備の更新前と更新後



写真－２ 検査路上での簡易照度測定

写真－３ 測定ポイント鉤位置



写真－４・５・６ 治具を用いた墨出し作業の短縮



写真－７ 予告看板設置



写真－８ 大型バルーンの採用



写真－８ 照度測定状況



写真－９ 新型コロナウイルス感染症対策の徹底



写真－１０ 熱中症対策（扇風機・空調服・熱中症対策キット）



写真－１１ 熱中症対策（扇風機・空調服・熱中症対策キット）



写真－１２・１３ 撤去物の落下・飛散防止対策（照明器具、電源ケーブル）